



CSR購買方針

2021年 12月 バージョン2.0

旭カーボン株式会社
サプライチェーン企画管理部 購買課

Confidential S4

ASAHI CARBON CO.,LTD.

CSRとは何か？

CSRとは？

Corporate Social Responsibility

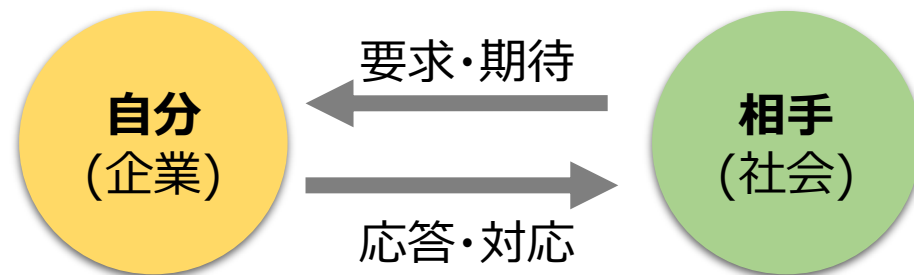
企業の 社会的 責任

Responsibilityとは？

Response + Ability

応答する

能力



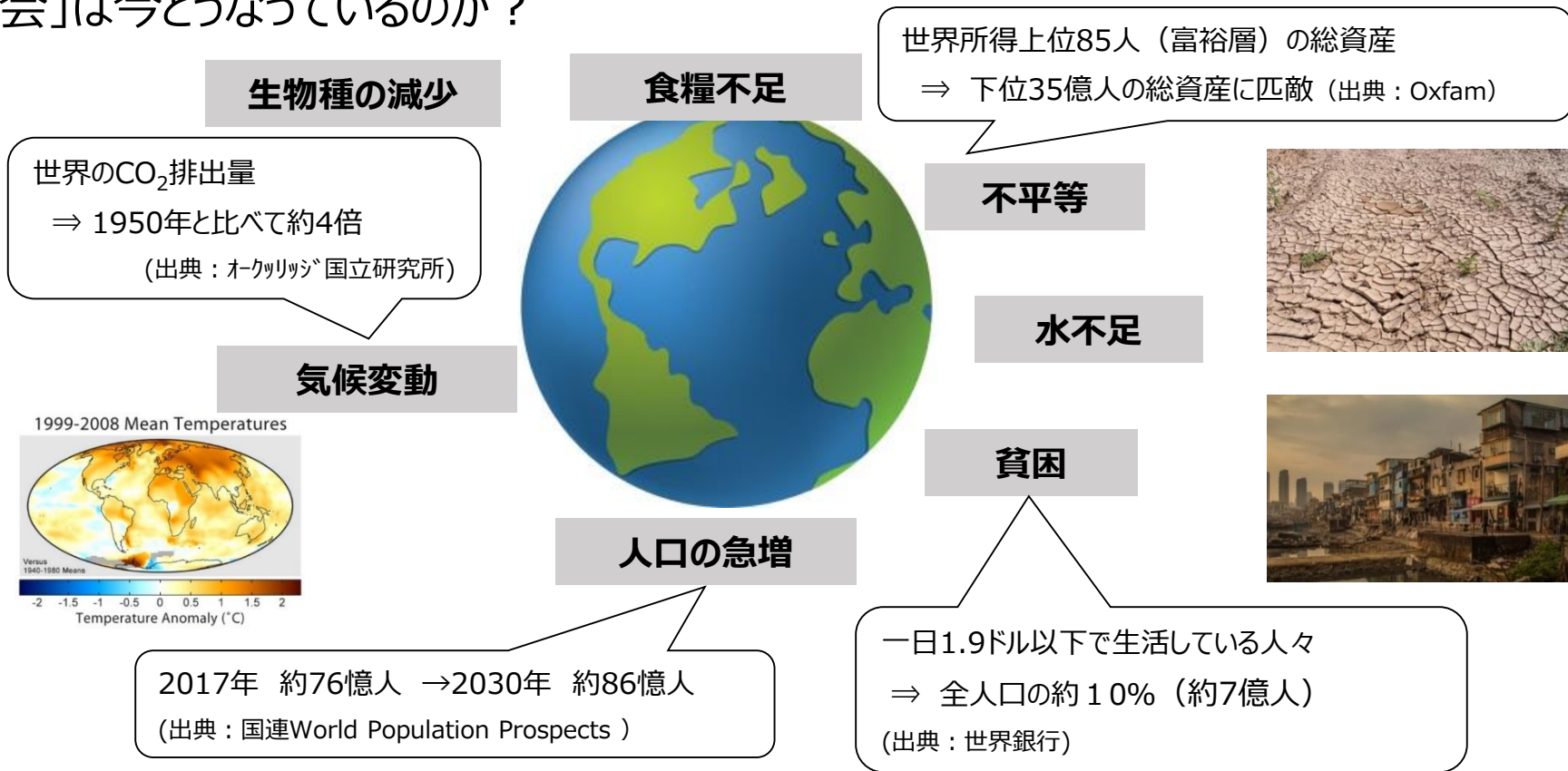
「責任」とは相手から負わされるものではなく、
相手のニーズを自ら認識し対応すること

相手(社会)の要求・期待が満たされることで、
自分(企業)の**価値が生まれる**

企業が「社会」に対する要求・期待に応え、結果として価値を生み出すことが「CSR」

旭カーボンCSRの考え方

「社会」は今どうなっているのか？



「持続可能な開発」とは… 将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発

"Sustainable development is development that meets the needs of the present without compromising the ability of future generations to meet their own needs".

「環境と開発に関する世界委員会」が1987年に公表した報告書「Our Common Future」で定義

様々な課題が顕在化、このままでは持続可能ではない、との共通認識

旭カーボンCSRの考え方

持続可能な社会の実現に向けて

UN SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標

2030年に向けた17の目標と169のターゲット
(2015年「国連持続可能な開発サミット」で採択)

持続可能な社会に向けて

誰一人取り残さない - *No one will be left behind*
我々の世界を変革する - *Transforming our world*



2021年、COP26(国連気候変動枠組条約第26回締約国会議)

- ・気温上昇を1.5度に抑える努力を追求する
- ・各国は必要に応じて2022年末までに30年の目標を見直す
- ・石炭火力発電を段階的に削減する
- ・途上国への資金支援を倍増させ、年間1000億ドルの目標を達成する
- ・パリ協定第6条をめぐり排出削減量を取引する仕組みで合意し、パリルールブック（実施指針）が完成

国連/各国政府だけではなく、企業にも課題解決への貢献が求められている

ブリヂストングループではどう対応(Response)しているのか？

Our Way to Serve 始動 (2017年3月)

Our Way to Serve



Serving Society with Superior Quality
(最高の品質で社会に貢献)

「Our Way to Serve」には、「最高の品質で社会に貢献」するための
Our Way(道/方法)という意味が込められている

「Our Way to Serve」は、企業理念の使命「最高の品質で社会に貢献」を
どういう道を通して実践するかを表した指針

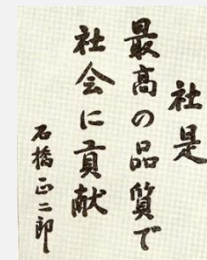
Our Way to Serve

■ 創業者の言葉

私の事業観は、単に営利を主眼とする事業は必ず持続性なく滅亡するものであるが、
社会、国家を益する事業は永遠に繁栄すべきことを確信するのであります。



ブリヂストン創業者
石橋 正二郎



■ 企業理念の使命

最高の品質で社会に貢献 (**Serving** Society with Superior Quality)

重点領域

モビリティ
(Mobility)



一人ひとりの
生活(People)



環境
(Environment)



基盤領域

コンプライアンス・公正な競争、BCP(事業継続計画)・リスクマネジメント、
人権・労働慣行、労働安全・衛生、調達、品質・お客様価値

「人々がより快適に移動し、生活し、働きそして楽しむこと」に貢献するために、
従業員一人ひとりが重点領域、基盤領域の活動を実践していく

旭カーボンCSRの考え方

「Our Way to Serve」の位置づけ



旭カーボンCSRの考え方

「Our Way to Serve」の全体像



重点領域：共通価値(顧客価値と社会価値)を創出する領域

当社が目指すべき方向性

2050年にもサステナブルなソリューションカンパニーとして、
社会価値・顧客価値を持続的に提供する会社であり続ける



サステナビリティの視点が不可欠！

その指針となるのが

Our Way to Serve

旭カーボンCSR購買方針

■ 旭カーボン購買方針

お取引先様との公正・公平な取引を継続して、共存、共栄の関係継続のため、以下の項目を実施します。

■ ブリヂストングループ方針

当社旭カーボン(株)は、ブリヂストングループ会社としてグローバルサステナブル調達ポリシーを基に展開を致します。



グローバルサステナブル調達ポリシー

ミッション

ミッションは、“持続可能な調達活動を通じ社会価値を創造する”ことです。

「ミッション」を実践するための 4つの活動

4項目をサプライチェーン全体に浸透

1. 透明性
2. コンプライアンス
3. QCD（品質、コスト、供給） & イノベーション
4. 持続可能な調達活動

ブリヂストングループ

GLOBAL SUSTAINABLE
PROCUREMENT POLICY

グローバルサステナブル調達ポリシー

バージョン 2.0

2021年9月

ブリヂストングループは、**グローバルサステナブル調達ポリシー**を実践し、**長期的に環境、社会、経済をよりよくしていくため 4項目の活動**に取り組んでいます。

1. 透明性

1.1 トレーサビリティ

適切な計画の立案・実行により、中長期的に、持続可能性向上に向けた進捗を効果的に把握することができるシステムの構築を目指しています。

このチャレンジングな取り組みを達成するには多大な時間を要するため、お取引先様および他の企業にもご協力いただき、このプロセスを加速させたいと考えています。

調達する製品とサービスのトレーサビリティを高める新しい技術と手法を積極的に探索し、検討しています。
最上流および生産者を含めたサプライチェーン全体のトレーサビリティ向上の進捗を、自社ホームページでの公開や報告書の発行等の手段を通じて開示して参ります。

必ず実施いただきたい事項

- 供給される製品やサービスについて、そのサプライチェーン全体に関するあらゆる情報を得るために最善の努力をすること。例えば、最上流までさかのぼってサプライチェーンを追跡するマネジメントシステムの導入などがあげられます。
- 情報提供をお願いした場合、供給される製品またはサービスの最上流や供給源に関する情報を迅速に回答いただくよう最善の努力をいただくこと。

お取引先様への期待: **トレーサビリティ**の向上

1. 透明性

1.2 ガバナンス

旭カーボンにとって優れたガバナンスとは、明確な意思決定とステークホルダーに対する説明責任につながる、透明性の高い方針、施策、プロセスをもつことです。優れたガバナンスは、旭カーボンが直接的または間接的に、いかなる形の汚職、贈収賄、恐喝、横領等に絶対に関わらないことにも繋がります。

事業の透明性と優れたガバナンスは、環境や社会に影響を及ぼすリスクへの理解とそのリスクに対処する能力を高めると考えています。事業活動を行うにあたり考慮しなければならないステークホルダー（地域社会、先住民、NGO、業界団体、その他の組織、政府機関など）の多様性を受けて、ステークホルダーとのエンゲージメントと、「自由意思に基づく、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)」の原則を採用しています。特定地域のステークホルダーの皆様に加えて、旭カーボンは多地域にわたるステークホルダーの皆様とも協力し、定期的にコミュニケーションを図っております。ステークホルダーのニーズと期待を考慮しながら、当社は必要に応じてこの「ポリシー」を見直し、改訂し、開示いたします。

当社がこの「ポリシー」において提示させていただく方針にご賛同いただけますようお願いいたします。

必ず実施いただきたい事項

- 旭カーボン、消費者および顧客から情報提供の依頼があった場合、お取引先様の製品と事業に関する適切な情報を提供いただくこと。
- いかなる形でも、汚職、贈収賄、恐喝、横領に関与しないことおよび容認しないこと。
- 事業の規模と範囲に応じて、健全で安定した財務管理維持に努めること。
- ビジネスパートナーの秘密情報および知的財産、プライバシーにかかわる情報を含む個人データ・個人情報を守るために適切な防御措置を講じること。

お取引先様への期待: **優れたガバナンス**の実践

2. コンプライアンス

旭カーボンは、事業を展開する国・地域で適用される全ての法律と規制を遵守し、さらにお取引先様にも、該当する国際基準への適合をお願いしております。

必ず実施いただきたい事項

- 私的独占、不当な取引制限（カルテル、談合など）、または不公正な取引方法（優越的地位の濫用など）に該当する行為に関する規制や競争法を遵守すること。
- 自国や事業を行う地域において該当する表示に関する全ての法律と規制、および旭カーボンの指定する表示に関する要件を遵守すること。
- 自らの原材料等の上流サプライチェーンに対して、その国や事業が行われている地域における該当する法律と規制を遵守いただくよう働きかけること。
- 事業の規模と範囲に応じて、より確実なコンプライアンスのために必要な方針、戦略、行動規範、報告システム、トレーニング・プログラム、およびその他の手段を確立させ、実行すること。

お取引先様への期待: **コンプライアンス**の実践

3. QCD（品質、コスト、供給）＆イノベーション

旭カーボンでは常に、お取引先様のご協力の下、高品質の製品とサービスがタイムリーかつ適切な価格で提供できるよう取り組んでいます。製品の小型化、耐久性の向上、リサイクルや再利用、タイヤの再生サービスの提供といった、製品・サービスの改善にも常に取り組んでいます。

さらに、旭カーボンは、国際社会に対する支援に精力的に取り組みながら、革新的なテクノロジーの研究と探索を継続的に進めています。

必ず実施いただきたい事項

- 該当する法律や規制によって義務づけられた品質基準と、旭カーボンから提示させていただく品質要件を満たした製品を供給すること。
- 該当する法律および当社基準の下での品質、安全性、文書化要件および報告要件を満たしていることを保証できる品質保証システムを確立すること。

お取引先様への期待:QCD原則の実践

4. 持続可能な調達活動

4.1 環境配慮型調達

旭カーボンでは、持続可能な調達活動を、環境に配慮した調達活動、人権、土地利用、健康、安全、防災、レジリエンス(変化に対処する能力)の尊重を含む概念であると考えています。

製品の調達環境と人権への影響という点で課題を生じさせる可能性があります。製品の調達をもたらす悪影響を最小化するため、旭カーボンはこの「ポリシー」の各項目に従って製品と原料の調達に取り組んでおります。

付属書 III に列挙されている国際基準は、環境および社会的に持続可能な調達に関して、旭カーボンがサプライチェーン全体を通して達成を目指すベストプラクティスと基準を示しています。旭カーボンは、調達活動を含む全ての事業活動において、人権侵害に加担しないよう最善の努力を尽くしています。しかし、これらの基準の実践は、方針やガイダンス等の文書に記載されるほど単純なものではありません。持続可能性を継続的に改善する方法を追求するには、製品やサービスの上流サプライチェーンとなる各地域独自の特徴と状況を考慮する必要があると考えています。

製品やサービスの持続可能な調達活動に関して問題が生じた場合、旭カーボンはその問題解決に取り組む上で、関連するステークホルダーの皆様と意見を交わさせていただきたいと考えています。また、行動計画またはその他の解決方法の検討にあたっては、FPIC原則を遵守します。

必ず実施いただきたい事項

- 自国や事業を行う地域での全ての環境法規制を遵守すること。
- 事業の規模と範囲に応じて、コンプライアンスを確保し、環境への負荷を最小限にするために、環境マネジメントシステムを導入すること。

お取引先様への期待:環境配慮型調達の実践

4. 持続可能な調達活動

旭カーボンは調達活動が環境におよぼす潜在的に大きな影響を特定し、それを削減するために、以下の7項目に焦点を当てています:

1. 森林破壊ネットゼロ
2. 泥炭地帯の開発禁止
3. 生物多様性への配慮
4. 水管理
5. 資源の保全と廃棄物削減
6. エネルギー使用量と温室効果ガス排出の削減
7. 化学物質管理

企業としての責任をもって、地域社会に貢献

他の活動事例（環境影響の低減と貢献）



自然と共生する

自然環境への影響を考えよう！

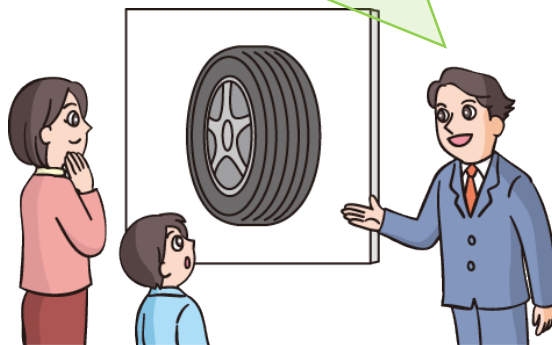
商品設計、 材料開発部門

使っている原材料を、
より安全性の高いものに代替
できないか？



広報・総務部門 など

自然環境に与える影響が少
ない製品や貢献への取り組み
をもっとPRできないか？



設備部門など

設備や配管からオイルが漏れても社外に流出
しない仕組みは維持されているか？



普段の業務でも環境影響を小さくすることや貢献できることを考えていきましょう。

例 ウォータースチュワードシッププラン

「ウォータースチュワードシップ」とは？

持続的な水資源確保のため、水を大切にすること

実行化

公平かつ持続可能な水利用に向けた当社のアプローチ



企業としての責任をもって、水資源を効率よく利用し、地域社会に貢献

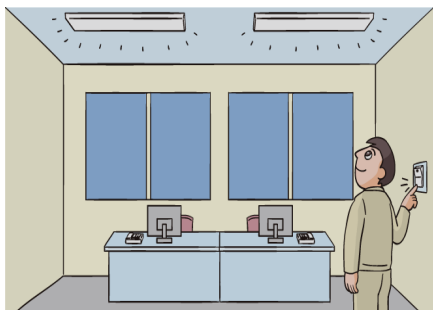
CO₂を減らす：活動事例①



CO₂を減らす

エネルギーの使用状況を知り、CO₂削減の可能性を検討しよう！

事業所・オフィス



- ・会議室など空調温度の適正管理できているか？
- ・昼休みでの消灯や不要な照明を消しているか？

生産技術部門



- ・より高効率な設備開発ができないか？
- ・よりCO₂排出量の少ない燃料への転換ができる設備を開発できないか？
- ・設備の電化ができないか？

事業部門・工場



- ・LED電灯等省エネルギー機器への変更できないか？
- ・エネルギーの無駄を見える化し、更なる改善を図れないか？
- ・再生可能エネルギーを導入できないか？

省エネ、節電など継続しつつ、エネルギーの使い方を抜本的に見直してみましよう。

資源を大切に使う



マイルストーン2030：サーキュラーエコノミーへの貢献促進

サーキュラー
エコノミーとは？

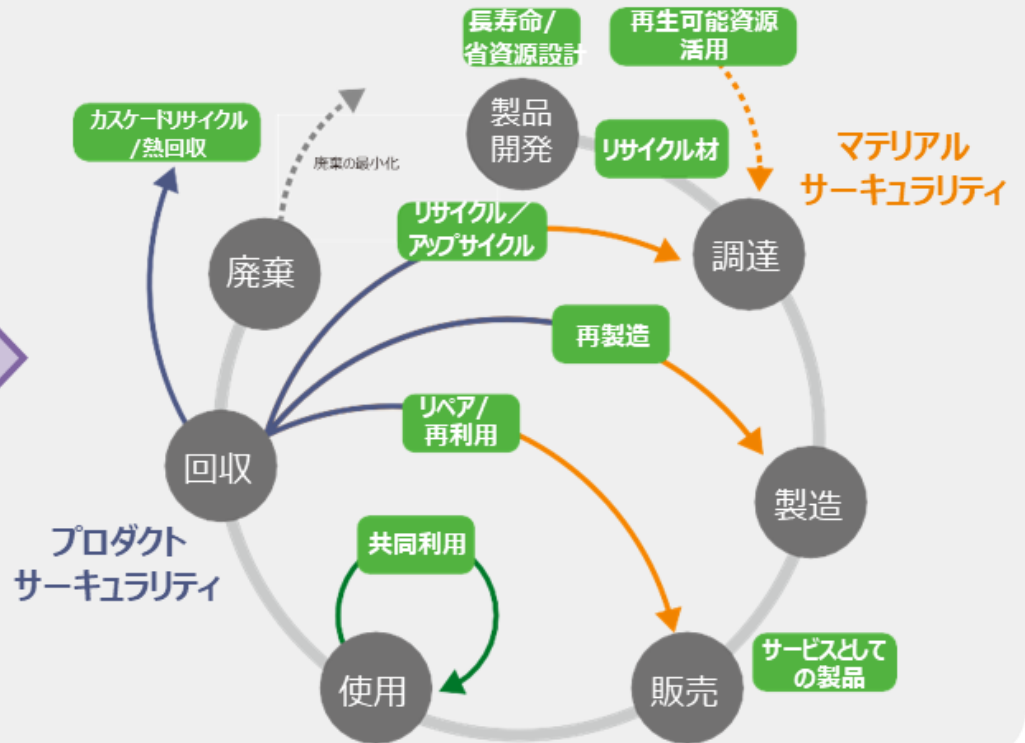
||

資源の循環利用
ができる経済

直線的(非循環)な経済フロー



サーキュラーエコノミー (循環型経済)



バリューチェーン全体でムダを省き、資源循環するための取り組みが必要！

4. 持続可能な調達活動

4.2 人権の尊重

旭カーボンは、人権と労働問題に取り組むことは持続可能性の向上および長期的な安定性の確保にとって不可欠であり、人的資本と自然資本という点から有益な取り組みであると考えています。旭カーボンは、事業を展開するにあたり、様々な原料やサービスを、様々な国、法律、規制、文化、伝統、教育、考え方、収入水準の地域から調達しています。

旭カーボンは、国連の世界人権宣言(UDHR)、ビジネスと人権に関する指導原則、国際労働機関(ILO)の様々な条約、付属書Ⅱに列挙されているその他の基準に示されている基本原則等、人権の国際基準を遵守します。また、国連食糧農業機関(FAO)の保有権に関する責任あるガバナンスについての任意自発的指針(VGGT)に同意し、その適用に取り組んでいます。

必ず実施いただきたい事項

- お取引先様の事業を展開する地域における人権に関する全ての法規制を遵守すること。
- 製品とサービスのトレーサビリティを高め、潜在的な人権への影響を認識するために、供給いただく製品やサービスの上流サプライチェーンについて幅広く情報収集に努めること。
- 「責任ある鉱物イニシアティブ(RMI)」が作成する、「紛争鉱物報告テンプレート(CMRT)」と「コバルト報告テンプレート(CRT)」を用いて、サプライチェーン全体にわたる紛争鉱物(すず、タンガステン、タンタル、金)およびコバルトのリスク評価を行い、旭カーボンに毎年報告すること。さらに、鉱物の調達先である製錬業者が、関連する「責任ある鉱物保証プロセス(RMAP)」を遵守していないことが疑われる場合、あるいは確認された場合は、代替りの調達先または鉱物を見つけるための行動を明らかにして、実行に移すように最善の努力をすること。

お取引先様への期待: **人権尊重**の実践

4. 持続可能な調達活動

旭カーボンは必要に応じ、サプライチェーン全体において、国際的に許容されている基準が遵守されるように努めて参ります。調達活動が人権に対し及ぼしうる主要な潜在的影響を特定し、それらを削減するための方策を検討する際、旭カーボンは常に以下の5項目に焦点を当てています:

1. 児童労働
2. 強制労働
3. 土地の権利
4. 労働条件
5. 公平で平等な処遇

旭カーボンが事業を展開する一部の国では、労働安全衛生に関する法律や規制、および「安全」または「健康」と考えられる基準に対する見解が異なることがあります。災害予防の規制または手法も国によって異なることがあります。一方で、旭カーボンは、以下の4項目は、事業の規模と範囲に応じて、労働安全衛生および防災マネジメントシステムの一部として位置付け、重視すべきであると考えています。

1. 予防活動
2. 事故の早期発見
3. 緊急対応行為
4. 再発防止活動

お取引先様への期待: **人権尊重**の実践

4. 持続可能な調達活動

4.3 労働安全衛生および防災

旭カーボンは、労働安全衛生マネジメントおよび防災が、全てのステークホルダーにとって持続可能で安定した利益を確保するためにきわめて重要であると考えています。

必ず実施いただきたい事項

- 労働安全衛生および防災に関する自国や事業を行う地域での全ての法令を遵守いただくこと。
- これらの問題に関して、確立された方針および計画・方法、ならびにそれらのシステムおよび計画を実行するために十分な資源を確保すること。
- 労働安全衛生および防災の方針・計画・方法を全従業員に通知し、事故防止、および万が一事故が起こった場合に取りる必要のある行動について全従業員を訓練すること。
- 従業員に保護めがね、保護マスク、排気装置、安全帽、保護手袋、安全靴など、必要な保護具(PPE)を提供し、これらのPPEの使用方法を説明すること。

お取引先様への期待:労働安全衛生および防災に対する取り組みの実践

4. 持続可能な調達活動

4.3.1 予防活動

旭カーボンでは、従業員や職場を守るためには、積極的な健康、安全、防災活動を通してリスクを最小限にすることが重要であると考えています。当社安全宣言に基づいて、旭カーボンは4つの活動(整理・整頓・清掃(3S)、危険予知(KY)、リスクアセスメント(RA)、安全ルール)を実施しています。

4.3.1.1 整理・整頓・清掃(3S)

3Sは、仕事に必要な物と必要でない物を区別し、必要でない物を排除し、職場において何が、どこで、どれくらいの量必要なのかを明確にし、管理することや、物や職場を清潔で整頓された状態に保つのに有効です。

必ず実施いただきたい事項

- お取引先様ご自身の労働安全衛生方針・計画の一環として3Sを実践すること。

4.3.1.2 危険予知(KY)

KYにより、従業員が事前に職場の危険に気づき、事故の発生を予防する行動を起こせるようになります。

必ず実施いただきたい事項

- お取引先様ご自身の労働安全衛生方針・計画の一環としてKYを実践すること。

4. 持続可能な調達活動

4.3.1.3 リスクアセスメント(RA)

RAにより、職場の潜在的なリスクの原因を特定し、特定されたリスクの潜在的な影響を判断し、従業員がリスクを軽減する行動を取ることができるようになります。

必ず実施いただきたい事項

- RAを実践すること。
- RAにより特定されたリスクを軽減する措置を取ること。これらの措置は、警報システム、消火器、屋内の消火栓、防火シャッター、その他のしかるべき必要な装置の設置を含みますが、これらに限定されるものではありません。
- 安全装置を定期的に点検し、事故の場合に適切に機能することを確認すること。
- 定期的に職場と機械類の点検と保守を行うこと。
- 定期的に避難経路と非常口を明確に示し、それらを検査して、緊急の場合に適切に機能することを確認すること。

4. 持続可能な調達活動

4.3.1.4 安全ルール

従業員の安全を守るために、各職場にルールを設定することは重要です。また、これらの規則を全従業員に通知し、確実に遵守させることが不可欠です。これらには以下のルールが含まれますが、これらに限定されるものではありません:

- エネルギー隔離に関する基準およびその手順(例：ロックアウトタグアウト「LOTO」)
- 機械の安全装置およびフェンス等に関する基準
- 転落防止に関する基準
- 危険な化学物質を使用している場合、それらの化学物質の識別とラベリングならびに安全に処理、保管、処分、およびリサイクルを実施するための基準
- 危険/立入禁止区域に関する基準

必ず実施いただきたい事項

- 労働安全衛生マネジメントシステムの一部として、お取引先様ご自身の職場におけるリスクを認識、回避、対応するためのルールを策定すること。
- お取引先様の全従業員にこれらのルールを通知すること。

4. 持続可能な調達活動

4.3.2 事故の早期発見

旭カーボンは、予防のための活動を実施することで災害管理にアプローチしています。しかし、旭カーボンは、その影響拡大を防ぐために、初期段階で火災やその他の事故を発見することも重要であると考えています。

必ず実施いただきたい事項

- 火災警報システムおよびその他の必要な検知装置を設置すること。

4.3.3 緊急時の対応活動

旭カーボンは、緊急時に従業員や職場への損害を最小限にするため、あらかじめ従業員が取るべき必要な手順/処置を明確にしておくことが重要であると考えています。また、サプライチェーンの一部の供給能力に悪影響を与える可能性のある事象があれば適時に通知し、お取引先様にもこれをお願いしております。

必ず実施いただきたい事項

- あらゆる場所における潜在的な緊急事態のリスクについて、全従業員に訓練を実施いただき、緊急事態発生前に避難経路を説明すること。
- あらかじめ、応急手当セットなど、避難の際に必要な支給品を準備しておき、緊急時にこれらの支給品をお取引先様従業員に提供すること。
- いかなる緊急時でも可能な限り速やかに、サプライチェーンへの影響を旭カーボンにご報告いただくこと。

4. 持続可能な調達活動

4.3.4 再発防止活動

旭カーボンでは、将来の労働安全衛生に関する事故または災害の再発を防ぐために、過去の事故から学習することが重要であると考えています。さらに、必要に応じてお取引先様と、当社内で確立された対策、新しい経験、および当社内で検討された措置を共有いたします。

必ず実施いただきたい事項

- 再発防止のための計画を労働安全衛生および防災に関するお取引先様ご自身の方針、計画および対応手順に組み込むこと。

4. 持続可能な調達活動

4.4 レジリエンス

4.4.1 レジリエンス

旭カーボンは、リスクの軽減のために最善を尽くし、軽減処置を取ったとしても、全ての状況の制御はできないことを認識しています。自然災害、気候変動の影響、病気の蔓延、政治的な混乱等の予測できない状況は、生産地域での業務の中断、または停止にまでつながる可能性があり、またこの影響は、サプライチェーン、環境、地域社会で長期化することも考えられます。

旭カーボンは、これらの困難に直面した場合に迅速かつ適切に対応できるように、サプライチェーンと、当社の調達活動を支援して頂いている地域社会の「レジリエンス」と「アジリティ」を強化することを目標としています。

旭カーボンはレジリエンスとアジリティを「変化に対処する能力」、「変化に迅速に対応する能力」とそれぞれ定義しています。

必ず実施いただきたい事項

- 防災およびリスク軽減に関する自国や事業を行う地域での全ての労働法および規制を遵守いただくこと。

CSRの観点から未然防止が重要です！

お取引様でもCSR活動にすでに取り組まれていることと思います。

全社展開での活動、推進のPRなどで従業員の皆様に理解していただき、活動を活発化させていただきますようお願いいたします。

又、管理表（グラフなど）で実績推移を監視し、兆候を見つけ、事前に対策を行うなどの実態把握や不正などの早期発見ができる仕組みづくりが重要と考えております。

法的規制値内であっても社内目標を掲げ改善活動を行うことで、継続的な削減活動に取り組んでいただくよう、ご協力よろしくお願いいたします。

- ・グローバルサステナブル調達ポリシー バージョン2.0に詳細がありますのでご確認をお願いします。各お取引様で法律上実施しなければならないことを把握し、着実な対応をお願いします。

